西区　区域まちづくり事業　効果検証シート

事業名称	実施主体
西区中学校合同演奏会	西区自治連合協議会「にぎわい・文化のまちづくり」部、堺市西区

事業目的	事業内容	活動指標	R1～R2	R3	R5
西区内市立中学校吹奏楽部のそれぞれが演奏技術の向上に努め、音楽を通じて感性の豊かな大人に成長するよう支援する。 また、同じ空間で音楽にふれることで、区民の活力に繋げるとともに、連帯感の醸成を図る。	西区内市立中学校吹奏楽部が一堂に会し、日頃の練習の成果を発表する機会として、演奏会を開催する。なお、演奏会当日は、「午前の部」と「午後の部」の2部制に分け、実施する。	演奏会参加校数	新型コロナウイルス感染拡大により中止	4校	（5月開催）6校
					（3月開催）6校
		観客数		約240名	（5月開催）約950名
					（3月開催）約800名

①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	次世代を担う子ども達を音楽を通じて育むとともに、学校同士の交流を深め、演奏技術の向上にもつながる事業である。また地域に中学校の部活動を広報し、地域のつながりを強めることにも寄与している。	○	必要な選曲、練習、当日の運営などは出演中学校が主体となって行っている。行政としては、会場確保や広報物等の作成を行い、各中学校と役割を分担し協働で、事業を進めている。	○	近年コロナ禍で事業実施が難しかったが、今年度は2部制に分け、西区内の全6市立中学校が出演することができ、中学生や来場者にとって久しぶりの発表や演奏を聴く機会となった。	○	事業の運営について、行政の関与は予算、要員ともに必要最小限に抑え、学校間の調整や打合せは、中学校の協力を得ながら役割を分担し、効率よく準備を進めた。

⑤自立発展性		総合評価	
△	学校の準備や調整などは、顧問の教員同士で行うなど、出演者が自立して取り組んでいる部分もあるが、会場の確保や全体スケジュール調整、費用面において行政の協力も必要となる。	○	近年新型コロナウイルス感染症の影響で、従来の内容での実施はできていなかったが、今年度は初めて2部制で行い、西区内の全6市立中学校が出演することができた。舞台上の楽器配置等の準備も出演中学校同士で助け合って行っており、各中学校が協力し演奏会を作りあげることで、学校を越えた交流の場となっていた。 今後も、各中学校と連携しながら、さらなる充実を図っていきたい。

今後の方向性（課題、改善提案等）	
拡充 継続 見直し 廃止	中学校関係者が当日の舞台進行などに関わっており、教育現場と行政の協働事業として、地域住民からも評価が高いことから、今後も継続実施が望まれている。今回は初めて2部開催を行い、従来とは異なる開催方法となったが、近年コロナ禍で事業実施が難しく久しぶりの6校出演での開催だったこともあり、5月、3月とも多くの来場者が訪れ、アンケートでも好評をいただいた。また区内の中学校が音楽を通じて、生徒同士が交流し、切磋琢磨する場となっていた。今後もより良い演奏会を目指し、内容を見直しながら、中学生の演奏技術の向上に寄与していきたい。